

11/2

「銀星さろん 川柳教室」開催

村老人クラブ連合会（高橋二郎会長）は、高齢者セミナー事業として「銀星さろん川柳教室」をいっばん館で開催しました。

高齢者セミナー事業は村内の高齢者が教養を深めることや参加者同士が交流を持ち、健康で生きがいのある生活を送ることを目的としています。

今回の川柳教室には約40人の参加があり、福島県老人クラブ連合会発行の機関紙「元輝（げんき）川柳百選」選者の坪内照光（つばうちしょうこう）さんを講師に、1時間ほどの講習を受けました。

坪内さんは「飯館村」をテーマに川柳を詠む参加者ひとりひとりの席を回りながら指導し、天人（最優秀作品）3点、秀作5点、佳作10点を選びました。天（最も優秀な作品）には、関根・松塚老人クラブ菅野益夫さんの作品「微笑めば 微笑み返す 村に住み」が選ばれました。



▲川柳教室の様子



▲参加者全員で記念撮影



親子で「心のドリンク」を

今年、国民読書年です。この読書年もあとわずかですが、今年だけの運動で終わらせたくないものです。

「ほんの森いいたて」がある村です。すから、他より良い事業をしなければ、いや、できるはずという思いがありました。

「親が本を選んで子どもに与える」は当たり前ですが、「子が本を選んで親にプレゼントする」なら、あまりないことですし、「村営の本屋」がある我村だからこそできる事業ではないでしょうか。

9月のある夕方、25組ほどの親子がビレッジハウスに集まりました。親が「どんな本を選んでくるのかな」とドキドキして待っている間に、子どもたちは多くの本の中から、親に

贈る本を悩みながら選んでいました。贈られた親の感想は、とても新鮮なものでした。

「とつてもユニークな事業だ」「迷いながら選んでくれたのかと思うととても嬉しかった」「選んでくれた本を見て、わたしのことをしっかりと見ているんだなと思った」「親のため本を選ぶ行動はどこか大人びていてたくましく思った」「本を通していつもと違った会話ができた」などです。親子の間に何らかの変化が生まれたようです。

本を読んだり、プレゼントし合う中で「親の自分に対する愛の深さが分かるようになった」「まわりの人の気持ちを少し考えるようになった」など、家族共通の話題の中で「忘れかけていた何か」や「ものすごく大事なものを」をちよつとでも感じてもらえれば、本なんて安いものではないでしょうか。

国民読書年にかかわらず、「ほんの森いいたて」に親子で足を運んでみるのも「よし」ですね。

平成22年11月29日

飯館村長 菅野 典雄

秋のはやま路を歩く

11/21

はやま湖探検ウォーク開催

真野ダム周辺開発協議会主催、飯館村教育委員会、いいたてスポーツクラブ共催の「はやま湖探検ウォーク」は真野ダム周辺を会場に行なわれました。

この探検ウォークには村内外から約80人が参加し、大倉体育館で準備運動を済ませた後、6コース、12コースに分かれ、はやま湖周辺やダム施設を散策しました。

また、散策終了後には佐須虎捕太鼓や大倉民俗芸能保存会による神楽舞いも披露され、秋の紅葉とともに参加者の目を楽しませました。



▲探検ウォークの様子

「消したかな」あなたを守る合言葉 平成22年度秋の全国火災予防運動

11/9~11/15

11月9日から15日まで全国一斉に展開された「全国秋の火災予防週間」に合わせ村でもさまざまな取り組みが行われました。

運動の一環として7日に行われた防火パレードでは消防団、女性消防隊、南相馬消防署飯館分署、磐城森林管理署、相馬地方防火安全協会飯館支部及び村が4コースに分かれて村内をパレードし、平成22年度全国統一防火標語『消したかな』あなたを守る合言葉』などで火の用心を呼びかけました。

また、運動期間中は消防団による防火訪問や飯館分署による火の用心



▲パレードに出発する消防車

誕生おめでとう

赤ちゃんの名まえ	親の氏名	行政区
中川 詩花ちゃん	伸一・デシリ	宮内
高橋 結友ちゃん	智・礼子	比曾
高橋 拓真くん	祐明・美幸	二枚橋・須萱
菅野ひよりちゃん	清光・智子	上飯桶

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	行政区
菅野 一彦 長 泥	野 彦 仙 韓 国
今野 雅彦 蕨 平	阿 部 スイ子 相馬郡新地町

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
高橋 トメ	89	深谷
長谷川 ミサ	90	宮内
高橋 清	77	関沢
高橋 フチヨ	97	比曾
菅野 シゲノ	83	比曾
須藤 アキヨ	97	比曾
佐藤 正美	54	二枚橋・須萱
島 長喜	84	草野
長正 安信	60	大久保・外内
只野 學	91	小宮

ご冥福をお祈り申し上げます

(10月21日から11月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごきの休載について

現在の人口は、平成17年国勢調査の結果を基に、県が毎月公表しています。今年10月に国勢調査が行われ、今後はその集計結果を基に人口を掲載しますのでしばらくお待ちください。

お詫びと訂正 広報いいたて11月号15ページキャプション中「まつたこのみさん」が「まつたことみさん」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。